

胃部検診の選択のめやす

当健診センターでは、胃部検診は**内視鏡**と**胃透視**があります。また、胃透視を選択された場合、検査前に胃の動きを抑える注射をしています。予約をされるときに、それぞれの**メリット**と**デメリット**があるため、下記を参考に予約をしてください。

		【メリット】	【デメリット】
内視鏡	経口：通常径	画質が良く診断力が優れている。 拡大観察が可能であり、より診断する上での情報が増える。 疑わしい病変があれば一部組織を採取（生検）して病理診断によって確定診断をつけられる （その際、保険診療となる） 早期に癌が発見できる。 生検時、細径と比較し検体量が大きく、診断に有利。 予約が取りやすい。	内視鏡の内径が大きくえづきやすい(咽頭反射がしやすい) まれに、咽頭麻酔によるショックや粘膜の損傷、出血などがある。
	経口：細径	内視鏡の内径が細いため、通常径より苦痛が少ない。	拡大観察ができない。 検査時間がやや長め。 予約が取りにくい。
	経鼻	鼻から挿入することでえづきにくい（咽頭反射ができにくい）	拡大観察ができない。 検査時間がやや長め。 予約が取りにくい。 鼻からの挿入のため、痛みを感じることもある（特に小顔の人）。 鼻出血する可能性あり（5～20%の確立で比較の出やすい）。 鼻から挿入困難なときは、経口に変更される場合がある。